

競技注意事項

本大会は、2021 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、ならびに本大会申し合わせ事項により行う。

1. 練習について

(1) 練習は役員の指示により競技場内で行うものとする。

2. 招集について

(1) 招集所は第 4 コーナー(100m スタート付近)に設ける。

(2) 招集開始および招集完了時刻は、下記の通りである。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始 30 分前	競技開始 15 分前
フィールド	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

(3) 競技者は、出場種目の招集時間までに招集所に掲示の出場競技者一覧にチェックをする。
このチェックは代理人でもよい。

(4) 同時刻に 2 種目以上出場する選手は、招集の際にその旨を競技者係に申し出ること。

(5) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権とみなす。

(6) やむを得ず棄権する場合、棄権届を競技者係(招集所)に提出すること。

3. 競技について

(1) トラック競技は、すべて写真判定で計時する。

(2) ナンバーカードはユニフォームの胸背部に固定すること。ただし、跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでもよい。

(3) リレーにおける助走マークは、前走者が必ず取り除くこと。

(4) 跳躍種目と投擲種目については、試技数を 5 回とする(感染防止のため)。

4. バーの上げ方について

(1) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

		練習	1	2	3	4	
走高跳	男子	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	…
	女子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	…
棒高跳	男子	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	…
	女子	2m40	2m60	2m80	3m00	3m20	…

(2) 競技者が1名になった場合や、第1位が同成績のときの順位決定の場合、バーの上げ方は審判長に一任する。

5. リレーのオーダーについて

(1) リレーのオーダーは、競技者(4名)の氏名と走順を所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。用紙は招集所に用意する。

6. 不正スタート(フライング)について

(1) 本大会の申し合わせ事項により、トラック種目における不正スタートは、同一のレースにおいて1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。また、同一競技会での警告2回で当該種目のみを失格とし、それ以後のすべての種目からは除外しないものとする。

7. 用器具について

(1) やり、円盤、砲丸、棒高跳のポールは、主催者側が用意したものを使用すること。各チームで持参した用器具は、検査を受け使用すること。なお、検査は競技開始1時間前に招集所で行う。

(2) 棒高跳のポールは、110mHのスタート地点横の倉庫に置くこと。

8. 表彰について

(1) 各種目とも、3位までの入賞者に表彰を授与する。

9. 競技用靴について

(1) スパイクピンの本数は11本以内、長さは9mm以内とする。なお、走高跳、やり投は12mm以内とする。

(2) 靴底の最大の厚さは、フィールド種目(三段跳を除く)は20mm以内、三段跳は25mm以内、800m未満のトラック種目は20mm以内、800m以上のトラック種目は25mm以内でなければならない。

10. その他

(1) 大会時の怪我・事故・病気については、主催者側では責任を負わない。また、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も主催者は一切負わない。

(2) 貴重品の管理は各自で行うこと。

(3) 選手の更衣は、競技場更衣室を利用することができる。

(4) ごみは各大学で責任を持って集め、持ち帰ること。

11. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- (1) 競技中を除いて、原則マスクを着用すること。
- (2) 休憩待機所、練習会場、招集所等では、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (3) 飛沫拡散を避けるため、声を出しての応援、集団での応援、大声・近距離での会話は避けること。
- (4) 競技会終了後 2 週間以内(11 月 20 日まで)に新型コロナウイルス感染症の発症が確認された場合、必ず主催者(岡山大学)と岡山学生陸上競技連盟へ連絡すること。